

さとしょう

議会だより

No.106

2021.10.29



岡山県 里庄町議会



浦安の舞(本村天満宮にて)

- 令和2年度 決算状況 (2)
- 令和3年度 補正予算 (6)
- 請願 (8)
- 町政を問う！(5人が登壇) (10)
- シリーズ こんな活動をしています(エルマーの工房) (16)

定例会

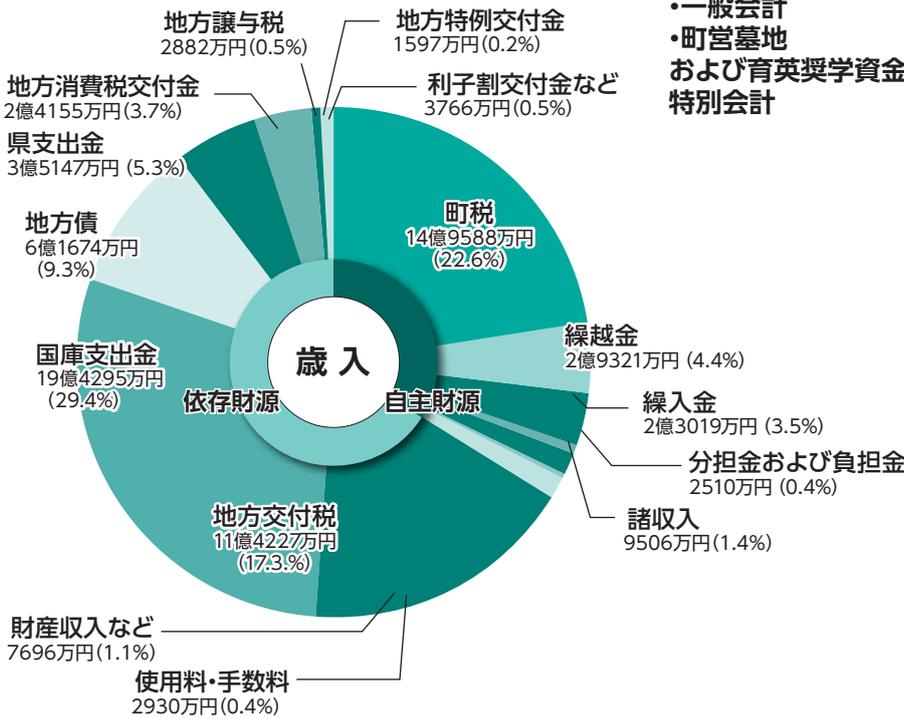
賛成多数で認定

賛成 8 : 反対 1

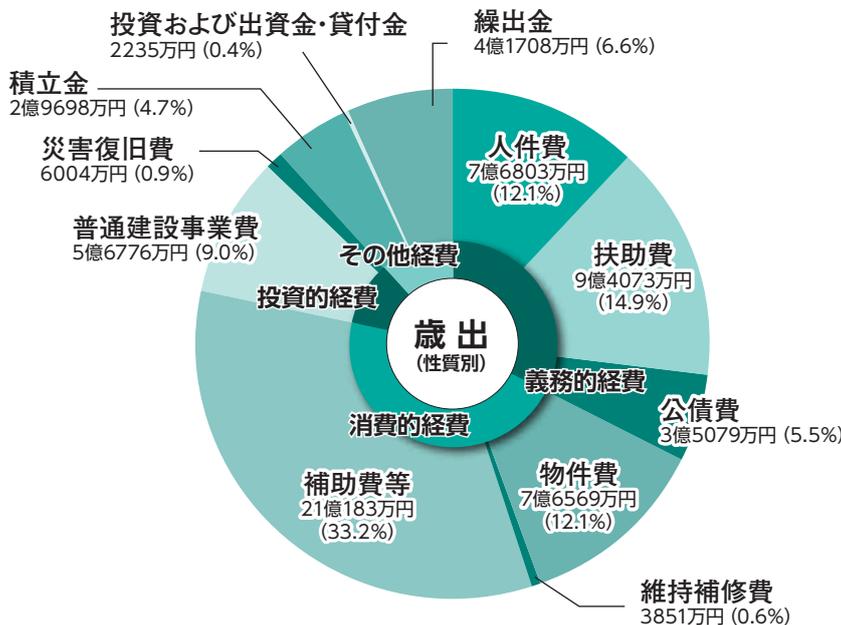
歳入総額 66億2313万円

〔普通会計表示〕

- ・一般会計
- ・町営墓地
- および育英奨学資金の特別会計



歳出総額 63億2979万円



令和3年第5回定例会は、9月3日から17日までの会期で行われました。議案は、専決処分2件、条例の制定1件、令和3年度補正予算7件、令和2年度決算認定9件、人事案件2件が上程され、すべて原案通り可決・承認・認定・同意されました。また、報告2件がありました。補正予算及び令和2年度決算については、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。さらに、請願3件の提出があり、総務文教委員会・建設福祉委員会にそれぞれ付託され、審査を行いました。また、議員発議1件があり全会一致で可決されました。なお、一般質問には5人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

令和2年度
決算

一般会計歳出

63億3188万円

令和3年度一般会計補正予算は全会一致で可決



まこもたけ収穫中

町の借金と貯金(令和2年度の状況)

令和2年度起債額(借金)

7億7284万円

・一般会計

6億1674万円

・下水道事業会計

1億5610万円

一般会計の基金(貯金総額)

23億2210万円

財政調整基金

9億8224万円

いきいき里庄基金

1億円

地域振興基金

5894万円

開発基金

2億3691万円

減債基金

7197万円

ふるさと保全基金

6600万円

文化振興基金

4億504万円

スポーツ振興基金

1億100万円

教育施設整備改修基金

1億3519万円

土地開発基金

1億302万円

環境整美基金

5039万円

古山基金

1008万円

森林環境譲与税基金

133万円

令和2年度未起債残高*

71億5971万円

・一般会計

35億9821万円

・下水道事業会計

2107万円

・下水道事業会計

35億4043万円

※元金償還金のうち、概算41・9億円が地方交付税に算入される見込み。

端数処理をしているため、合計額が一致しない場合があります。

令和2年度

税金は次のように使われました

◎主な歳出（5千万円以上の項目について）

財政調整基金積立金	1億2810万円
開発基金積立金	1億1796万円
プレミアム商品券事業	8024万円
特別定額給付金事業	11億2263万円
障害福祉事業の扶助費	2億7120万円
後期高齢者医療療養給付費負担金	1億363万円
児童手当費	1億8812万円
児童福祉事業	6048万円
子ども・子育て支援事業	8087万円
児童発達支援事業の扶助費	6124万円
保育園施設給付事業	3億6500万円
廃棄物収集委託料	6088万円
道路新設改良事業	9348万円
農林水産施設災害復旧事業	5630万円
公共下水道整備事業	2億6052万円
災害情報伝達システム等敷設工事費	2億7032万円
GIGAスクール構想タブレット端末購入費	8083万円

こんなことをやりました

		コロナ対応	
ふるさと納税事業	3182万円	子ども食事応援券	985万円
コミュニティー助成	1323万円	児童扶養手当受給者支援	585万円
小児医療費	4621万円	出産支援	810万円
西小児童クラブ等改修工事費	4850万円	子育て世帯への臨時特別給付金	1577万円
学童保育運営補助	2570万円	インフルエンザ予防接種	1707万円
母子検査・健診事業	1206万円	中小企業者等事業継続支援	1811万円
町道舗装等修繕工事	1046万円	水道料金減免事業	2657万円
校内通信ネットワーク整備工事費	3519万円		
中学校用地購入	3566万円		
奥迫池等災害復旧工事	5630万円		
学校生活支援員	3230万円		

令和2年度

決算

令和2年度決算に対する総括質疑は2人が行い、予算決算委員会に付託されました。

総括質疑

経常収支比率の差の理由は

仁科千議員 令和2年度の経常収支比率とその比率の差の理由は。

総務課長 3・7%の減少。歳入が増え、一方コロナの影響で歳出が減った。

仁科千議員 人口1人当たりの投資的経費の状況と理由は。

総務課長 令和元年度が2万8千円、令和2年度が5万6千円で2万8千円の増。

増加の主な理由は、災害情報伝達、戸別受信機等システム費、中学校用地購入費、西児童クラブ教室等の改修工事など。

仁科千議員 新型コロナウイルス感染症対応で町民によかったと思う事業は何か。

総務課長 特別定額給付金事業費補助金、子育て臨時特別給付金給付事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創

生臨時交付金など。

全ての事業で一定の効果が得られたと認識している。

町長 これからもコロナ関連だけではなく、効果がある事業をしっかりと見極めながら、進めていきたい。

人件費増加の理由は

仁科英議員 一般財源の人件費1億2000万円が増えている中で4000万円弱が経常一般財源だが、残りの8000万円は何か。

総務課長 令和元年度までは臨時職員などの賃金は物件費で臨時経費として扱っていたが、令和2年度からは人件費で経常経費に計上した。

仁科英議員 投資的経費を抑え過ぎていないか。
総務課長 バランスを取った予算執行になっているように認識している。

仁科英議員 財政力指数はどうなったのか。

総務課長 令和元年度が0・589、令和2年度は0・586。
大きく変動はない。



西小学校西側道路拡幅工事

ここが反対! 無駄な支出は認めない

仁科英磨議員

災害情報伝達システム整備事業で、戸別受信機1500台の引取りをやめたが、当初の契約数どおりに支払っている。4000万円前後の無駄な支出を認めることはできない。

令和3年度

補正

令和3年度補正予算6件は、
予算決算委員会で審査し、全て
原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

主な事業

大原西町営住宅跡地
造成工事
1200万円

放課後等デイサービス
事業所建設のため、敷地
整備をします。

基金積立金
2億7971万円

財政調整基金
1億1971万円
減債基金 4000万円
開発基金 8000万円
教育施設整備改修基金
4000万円

保育対策総合支援
100万円

町内両保育園に、新型
コロナウイルス対応とし
て、感染症防止のための
物品購入に充てられます。

追加の地方交付税歳入
を中心に、各基金に繰入
れされたものです。

新型コロナウイルス
感染症対策物資配布
750万円

町内事業者に対し、感
染症対策につながる物資
を配布するものです。
3セットのうち、希望
するセットを選択しても
らい、配布をします。

企業版ふるさと納税
50万円

井原市の企業から、中
学生の部活動支援がした
いと寄付があり、意向
に基づいて、クラブ活動
用備品の購入に充てます。

新型コロナウイルス
感染症ワクチン接種
事業
4175万円

ワクチン接種に係る一
連の事業費となります。
接種期間の延長が見込
まれたことに伴う、諸経
費となります。

水路等改修工事
500万円

老朽化し、危険な状態
になっている本村地区の
里見339号溝を改修し
ます。

道路新設改良工事
2100万円

浜中北地区の浜中45号
線道路拡幅に伴う測量設
計費、古井地区の里見1
27号線道路改良工事請
負費、及び金山地区の清
掃工場進入路である、新
庄613号線の拡幅及び
交差点改良に必要な用地
費にかかる経費となります。

農林水産施設災害
復旧事業
2100万円

奥迫池堤防復旧工事に
おいて、工事場所への進
入路変更が必要となり、
仮設盛土量が増加したこ
とに加え、現堤体の土の
状態が悪く、土質改良が
追加が必要となったため、
増額となりました。



工事が進む奥迫池

造成工事費の内容は

仁科英議員 放課後等デイサービス事業所を建設する、大原西町営住宅跡地造成工事費1200万円の内容は。

副町長 敷地南側の町道の高さの部分に合わせて、外周に擁壁や水路を施工する。

面積は約950㎡。

仁科英議員 新型コロナワクチン接種事業で、補正になった理由は。



大原西町営住宅跡地

副町長 9月末までの事業を予定していたが、11月まで補助金が交付されることになり、その2か月分とそれ以降の分を見込み増額した。

仁科英議員 医療機関への委託単価は変わったのか。

副町長 当初の単価1回2277円で、時間外3080円、休日4620円が追加された。

町条例

一部改正

① 固定資産評価審査委員会条例

② 里庄町遺児激励金支給条例

③ 里庄町道路占用条例

以上の、いずれの条例も、押印を無くすものです。

専決処分

法人町民税の歳出還付

540万円

超過納付となった法人町民税の中間納付額を、遅滞なく還付する必要が生じ、対応するものです。

里庄町証明等手数料条例の一部改正

マイナンバーカードの再発行に対し、町の手数料として徴収していましたが、地方公共団体情報システム機構が、発行手数料の徴収権限を有することとなりました。町は、委託契約により引き続き代行徴収いたします。再発行代金は、今まで通りの納金が必要です。

常任委員会報告

予算決算委員会

9月9日、10日、13日の3日間にわたり、関係当局の出席を求め、慎重に審査を行いました。

(令和3年度補正予算)

道路改良事業に関して詳しい内容の説明を求め、質疑、狭あい道路整備事業で、道路を拡幅する用地は、購入か寄付かの基準について質疑、意見がありました。

令和3年度里庄町一般会計補正予算(第6号)、および、提案された特別会計補正予算について、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

(令和2年度決算)

関係当局の説明を聴取しながら、予算が議決した趣旨と目的に従って、適正にかつ効率的に執行されたかどうか、行政効果が発揮できたのかなど

を、慎重に審査を行いました。

一般会計の歳入では町税、国民健康保険税をはじめ、保険料の徴収状況や、未済額や不納欠損額を、最小限に抑えるための取組について説明を受けました。

歳出では、全体を通して、事業内容、支出済額の内訳などの説明を求め審査しました。

特別会計においては、おおむね予算が議決した趣旨と目的に従って適正に執行されていました。一般会計決算の認定については、賛成多数で認定すべきものと決しました。

特別会計及び、公共上下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定については、全会一致で認定すべきものと決しました。

一 請 願

総務文教委員会

○選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出を求める請願

継続審査 3 : 1 反対

○選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願※1

継続審査 3 : 1 賛成

反対も賛成もしかねるという状況であり、国が決めるのが妥当であるなどの意見で、閉会中の継続審査と決しました。

総務文教委員会

○再犯防止推進計画に関する請願書

賛成 4 : 0 反対

再犯防止に関する請願の趣旨はよく理解できるということで、全会一致で採択すべきものと決し、町に意見書を提出しました。

建設福祉委員会

○新型コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策を求める請願

生産者が安心して作れる体制をつくる必要がある。

請願内容に疑問はあるが、全体的には賛成である。

賛成 4 : 0 反対

全会一致で採択すべきものと決し、国へ意見書を提出しました。



今年も豊作です

ここが賛成！ ※1の本案に対し

今の制度は同姓を強制

佐藤耕三議員

今の制度は、夫婦同姓を強制されている。

夫婦別姓を希望する夫婦には、その希望する権利が与えられていない。誰もが自らの名字を自分の意志で決めることができるようにすることが、多様な生き方や価値観を許容することにもつながってくる。

人 事

教育委員会教育長

小田郡矢掛町小田

杉本 秀樹氏

教育委員会委員

里庄町大字新庄

小野 愛氏

9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	52億3032万円	(3億9982万円)
国民健康保険特別	10億4382万円	(1417万円)
介護老人保健施設特別	3588万円	(587万円)
介護保険特別	11億5545万円	(820万円)
後期高齢者医療特別	1億7225万円	(17万円)
町営墓地特別	415万円	(34万円)

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名								議決結果	
	平野敏弘	高田卓司	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三		藤井典幸
議案第44号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第45号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第46号	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	令和3年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	令和3年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	令和3年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	令和3年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	令和3年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	令和2年度里庄町一般会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
議案第54号	令和2年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第55号	令和2年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第56号	令和2年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第57号	令和2年度里庄町介護保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	令和2年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第59号	令和2年度里庄町営墓地特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	令和2年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第61号	令和2年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第62号	教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第63号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第64号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告第5号	令和2年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第6号	令和2年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
請願第1号*	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	×	○	継続審査
請願第2号	再犯防止推進計画に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第3号*	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	×	○	継続審査
請願第4号	新型コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第3号	再犯防止推進計画策定を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第4号	新型コロナ禍による米需要求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※継続審査に対する賛否を諮ったもの

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)



天日干しでおいしい米を

9月定例会

一般質問

町政を問う

5人の議員が登壇して質問!

仁科 英磨 議員.....11P

- ① 新型コロナ対策
(ワクチン接種の促進、PCR検査の拡充等)
- ② 新ごみ焼却施設建設事業の進め方(2回目)

小野 光章 議員.....12P

- ① 町長の、現状と今後の対応
- ② つばきの丘運動公園の復旧は

平野 敏弘 議員.....13P

- ① コロナ対策
- ② 防災対策
- ③ 職員アンケートの実施
- ④ 四つ葉の家

佐藤 耕三 議員.....14P

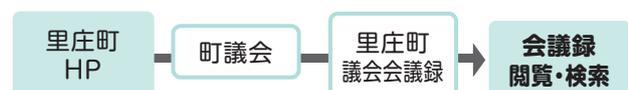
- ① 職員の人事
- ② 新型コロナ対策
- ③ ため池及び防火用水の管理

高田 卓司 議員.....15P

- ① 弓道場の運営

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/satosho/pg/index.html>



仁科 英磨 議員



検査の拡充等、県に言えないか

町長／必要な対応は言う

問

新型コロナウイルスが、全国的に猛威を振るっている。ワクチンは、国民の44%が2回接種しているにもかかわらず、こういう状況が続いていることについて、どう考えるか。

町長

ブレイクスルーはあるが、収束に向けて最も大切な今できることは、ワクチンの接種と、感染予防を一人一人が真剣に考え、取り組むことだ。

問

里庄町のワクチン接種の状況は、12歳以上の対象者のうち、71・8%が1回、59%が2回接種完了。

町長

10月中下旬までに、約86%が2回の接種を完了の見込み。

問

高齢者の残り一割や、若い人のうち接種を望まない者に

65歳以上は、90・7%が2回終了している。

は、どう対応する考えか。12歳未満にも感染が広がっている。子ども達にも接種できないか。

町長

ワクチンの有効性をしっかり伝え、副反応について理解した上で接種していただくよう、啓発に努めたい。子どもへのワクチン接種は、国や県の判断に沿う。

問

私は、3月議会検査の拡充強化と、感染者の隔離・治療体制の充実強化について、国や県に強く働きかけるように言ったが、働きかけたか。今後は。

町長

現状のところ、私は岡山県の方針に従う。

問

鳥取県は「昨年方式で徹底的にやっていた」と胸を張っていた。検査の拡充等について、何とか県に言えないか。

町長

岡山県も、徐々に状況に合わせた対応もできてきていると感じている。必要な対応は、私も申し、町村会としても申し入れていきたい。

問

GOTOキャンペーンの経過は、4種類あるが、どれも、感染拡大に伴い、何らかの制限がかかった状態。

総務課長

GOTOイートのプレミアム付食事は、8月11日から販売停止され、利用自粛が呼びかけられている状況。

問

プレミアム付食事は、去年の末に止めた後、3月と7月にまた売り出した。いつペン売ったら、自粛要請しても、やっぱり食べに行く人もいます。

交通割引券も発行。県は、一方で出ること

を促進しておいて、他方では抑制しなさいと言っ

ており、支離滅裂だ。今後は、下火になって

も、また喜んで再開することは絶対止めてと、強く知事に言って欲しい。

町長

今は国や県を批判するのはなく、国民が、この難局を克服するために、強い感染防止の意識を持って当たるしかない。

ダイオキシン、水銀の危険性は

町民課長／現・新施設とも基準を満たす

問

金山に新ごみ焼却施設を建設する計画は、予算計上時に初めて審議するのは、手後れだ。

金山に新ごみ焼却施設を建設する計画は、予算計上時に初めて審議するのは、手後れだ。

そこで、まず公害問題。ダイオキシン類と水銀について、それらの危険性、排出基準及び環境基準、現在の焼却炉の運転開始後のデータを、詳しく説明願いたい。

現在の焼却炉は、ダイオキシン類は平成23年度以降、水銀は30年度以降、基準は満たしている。

町民課長

新焼却施設は、日量130トン、65トン2炉で、24時間運転する。

ダイオキシン類の排出基準値は1ng・TEQ/

改選に向けての考えを

町長／次も町政を担わせてもらいたい



小野 光章 議員

問 3年半を振り返って、行政を担ってきたことに対しての感想を。

町長 行政運営の難しさを感じている。

町を取り巻く環境の変化やそれに対応した施策の展開が必要だ。

一方で、これは私のやりがいにも通じている。住民生活に即したサービスの提供では、応え切れていない、スムーズにいかない部分があると感じている。

交通安全対策では、特に通学路の安全確保、危険箇所における信号機の設置等、整備を適切に進めていく必要がある。学校教育については、

町は教育現場の声を大切にし、子ども達の安全・安心な教育環境の整備に、引き続き取り組む必要がある。

平成30年の7月豪雨災害で、種々の課題が見えた。危機感と、準備の必要性を強く持った。

保健福祉について、施策の短期、中期、長期にわたる展開が必要。

新型コロナウイルス感染症では、予防意識の徹底と、若い世代に、ワクチン接種を呼びかけ、感染症対策の体制を維持していく必要がある。

ごみ処理については、最終処分場が来年井原市に完成する。新ごみ焼却場は現在の

清掃工場の場所で、令和8年4月を竣工予定としている。

理解と協力をお願いし、計画的に進めていく必要がある。

以上が、私の感想。

問 来年の1月、改選を迎える。改選に向けての考えを。

町長 子どもの元気な声が響き、みんなの笑顔があふれる町を目指し、次も町政を担わせてもらいたい。

法面の崩れ復旧の考えを

農林建設課長／復旧に向けて工法等を検討



法面崩落現場

問 つばきの丘運動公園の、法面が崩れ既に3年が経過。現状に対してどのような感じを持っているか。

農林建設課長 景観面で考えれば、ブルーシートは荒れた印象を与える。財政状況を踏まえ、工法等を検討し、早期に復旧したいと考える。

問 元の見た目のよい、安心・安全な公園を目指してもらいたい。復旧に向けての具体的な考えを。

農林建設課長 現状では単独費での復旧しかない。復旧に向けて工法等を検討し、また財源についても交付税措置のある起債等が借りられないか検討したい。

平野 敏弘 議員



副町長が課長を兼務しているが

町長／早い時期に課長を決める

問

コロナワクチン接種を1回接種した人と2回接種した人の数は。

副町長

8月末で対象者数9880人に対し、第1回目の接種者が7094人、2回目の接種完了者は5830人である。

問

町長と副町長は接種済みなのか。町長と私も接種を済ませた。

問

接種当日、キャンセルが出た場合の対応は。

副町長

キャンセル待ちの登録者に連絡し、来場が可能な方に接種している。

問

ワクチンが余り(残り)、廃棄した事があるか。

副町長

キャンセルに伴い3人分を廃棄した。

問

集団接種後、体調不良で病院に運ばれたケースは。

副町長

接種後、血圧の上昇や気分が悪くなった人がいたが全員無事に帰宅した。

問

健康福祉課はコロナ対策の最前線。副町長が課長を兼務しているが、支障なくできる軽いポストではない。

副町長が兼務すれば、課長の給料を払わずに経費が削減になる。

町長

健康福祉課長は重要なポストであり、経費削減という考えはない。

課長補佐を4人配置して、各補佐が連携・協力し、課をまとめ副町長を先頭に課一丸となって対応している。

早い時期に課長を決め

て、円滑な課の運営ができるように取り組んでいく。

庁舎内の避難訓練は

総務課長／実施を検討する

問

役場の庁舎で火災や地震が発生した場合、役場に来ている町民の、避難指導のマニュアルや訓練を行っているのか。

総務課長

総務課を中心に消防用ホースの確認、それから防火扉付近に物が置かれてないか等の確認を行っているが、庁舎内の災害時対応は不十分である。消防計画に沿った避難誘導訓練実施を検討。

職員アンケートで改善を

町長／調査は考えていない

問

職員は疲労やストレスがたまり、業務の改善や町民から聞いた意見などを町長に直接伝えるのが難しい。アンケートで改善したらどうか。

総務課長

全職員にストレスチェックをやっており、課長に対することや、職場全体に関すること等を自由に書く欄があり、改善できることは改善している。

町長

毎年度、人事評価シートや目標設置シートを見ている。現時点でアンケート調査は考えていない。

その他の質問
Q 四つ葉の家の通所者の収入が増えるように。A 発注業務を増やすなどの支援を検討する。

課長不在の説明を

町長／今は副町長が兼任するのが相応



佐藤 耕三 議員

問

今はコロナの影響もあり健康福祉課の作業はハードだと思ふ。その中で課長がいないう説明を。

町長

人事異動の無理な各課の仕事内容や仕事量、職員の年齢階級、今後の人材育成を考慮しながら行なっている。

今の時点では副町長が課長職を兼任するのが相応。

検査、独自で行う考えは

副町長／現在は考えていない

副町長

希望する人はおおむね打つていると考える。

問

町民からも「3密を避けるのは当たり前。手洗い、うがいもしている。町がわざわざ言わなくてもわかっている。町として何をしてくれるのか。」と言われるが、何をするのか。

副町長

PCR検査を町独自で行う考えは。PCR検査を町独自で行う考えは。国の方針に従う。現在は独自の検査は考えていない。

町長

マスク着用、手洗い、3密をさける、飲食も十分気を付ける、ワクチン接種。そこがもう感染予防の

問

65歳以上の希望する人でワクチン接種が住んでいない人はいるのか。

一番の基本。

PCR検査は、陽性かどうかを判断するだけ。また、陰性なら安心というわけではない。医療にも保健所等にも負担を減らすためにも必要な時、必要な人にするべきと考える。

問

コロナ対策は十分活用されているのか。制度の周知徹底はされているのか。

副町長

ホームページ広報紙で周知を図っている。国・県の制度で町が関与していないものは把握できていない。町が窓口になっている制度は多くの人が利用していると考えている。

問

ため池計画の間報告にない池はどうするのか。

農林建設課長

経過観察をしながら必要に応じて整備していく。洗掘しているところもあるのので、小さい修繕で対応する。

問

危険と指摘されている場所で災害が起これば、人災と指摘されかねない。そうなるか。

問

普段管理が出来ていない防火水槽については、どう考えるか。

総務課長

消防団や地域の人で定期的に浚せつなど管理すれば、少しでもきれいな水の状態が保てると考えている。

問

浚せつと個人でなかなか個人ではできない。町としては非考えてもらいたいが、出来ることは地域でできない所は行政で行う。

予算を増やし不安解消を

農林建設課長／一度に直せばお金がかかる

高田 卓司 議員



土地使用料を払うべきでは

町長／検討したい

問

町は土地の利用料を払うべきものには払ってないものがあるのではないかと。弓道場は、建物も駐車場も40年間無償で利用してきた。

山神社は収入が無く、維持管理ができなくなっている。土地の利用料を払ってほしい。

中学生や一般の大勢の人が使っている公共性のある建物であるから借地料を払ってほしいが。

弓道場の一部が山神社の土地を占有した配置であることの確認をした。

参事

山神社の土地を

当時コミュニティ活動の場として利用できるようにと建設し、その後弓道場として一般に供用した施設。

使っているのは弓道場の一部ではない。建物、駐車場すべてが神社のものである。人をごまかすようなことを言わないでほしい。

問

土地利用の契約書はあるのか。

当時の資料では200㎡という数字の記録がある。当時の土地利用の契約書があるかどうかは定かでない。

参事

200㎡というのは建物の大きさではないのか。駐車場を含めると500㎡は利用している。

当時の首長と神社の代表者が同じ人だから契約書がある訳がない。契約書が無いというのは無断使用である。

問

町長は「弓道場のトイレ、水道も利用しているではないか」と言ったが、神社はほとんど使っていない。いいかげんな答弁をしないでほしい。

町長も神社の責任者をしたことがある。使うなら、それ相応の利用料を払うべきではないか。

町長

これまで使用料について言われたことはない。コミュニティの重要な施設であり、また弓道場という大切な場でもあり引き続き使わせていただくようにお願いするしかない。

無断で使っているという認識はない。公共施設が民間のものを借りていることについては何か方法を考えるべきと思う。

契約書もなしに、40年間使い続けてきたので考えてほしい。

問

役所が人の土地を不法占拠するべきでないと考え。自分の負担を願っていたが。

いろいろな角度からこの問題について解決できるものであれば検討したい。

町長

いろいろな角度からこの問題について解決できるものであれば検討したい。



神社境内に併設された弓道場

エルマーの工房

「エルマーの工房」は、里庄町立図書館の手作りボランティアです。今年で二十一年目になります。ところでみなさんは、図書館を利用していませんか？

館内の壁面や本棚等の飾りつけをしているのが私達です。

赤ちゃんの部屋やおはなしのへやにある布絵本やぬいぐるみ、おもちゃ、タペストリー、牛乳パックの椅子等もつくっています。

他にも、図書館のおたのしみ会やブックスタート事業で、図書館が配布している絵本バッグへの赤ちゃんの名前付けの手伝いもしています。

さらに、読み聞かせボランティア「おはなしトトロ」が使う、お話の小

道具も要望に合わせて制作しています。

このような様々な作品を作ることは楽しみであり、自分たちが作った作品を喜んでいただけていると感じることが、新たな制作への原動力になっています。

今は、コロナ禍で自粛していますが、作業後の情報交換の時間は、みんなの癒しの時間になっています。

私たちは、図書館が休館の日を除き、毎週金曜日の午後一時半から活動をしています。町内外問わず参加いただけますので、興味をお持ちの方は、お気軽に見学に来てください。お待ちしております。



《第106号》

令和3年10月29日 発行

発行/岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あしがき

秋が深くなってまいりました。山々が競うように錦をまとった季節となってまいりました。

コロナも落ち着き始めた状況です。しかし、里庄でもイノシシが目撃され田畑を荒らされたりしています。

どうぞ皆様、お気をつけて、日々を過ごしてください。

(仁科)

編集委員

委員長:小野光章 副委員長:藤井典幸 委員:仁科千鶴子 委員:佐藤耕三



令和3年第6回定例会は12月3日(金)から始まる予定です。